

令和元年度 串間市立本城小学校 学校関係者評価書

※ 評価・・・大変良い 4点 良い 3点 もう少し 2点 改善を要する 1点

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
1 学力向上	(1)基礎・基本の確実な定着	① 諸学力調査の分析・活用 ② 単元テスト平均85点以上 ③ 年間を通した読書指導 (読書週間や図書委員会発案の取組等実施)	① 全職員で全国及びみやぎ学力調査の問題を解き、分析を行い、本校児童の課題と対策についての共通理解を図って、日々の授業改善に取り組んでいる。校内研究の継続によって成果が表れてきている。 ② 個人差があり、単元によってもばらつきがある。思考を要する問題に課題があるが、授業の中で説明させたり、理由付けさせたりする活動の充実で徐々に理解する力が育ってきている。 ③ 読書週間を設定して読書量調査を行い、学期末ごとに賞賛している。特に、図書委員会の発案による「読書ビンゴ、すごろく、くじ」や「児童全員のおすすめの本の掲示」による本の紹介などで、本への関心を高めている。	3	3	○諸学力調査の分析としてのグラフ化は、わかりやすく非常に良いと思える。年度ごとの結果及び学力の推移を分析され、十分な活用を望みたい。 ○単元テスト平均85点以上の高い目標にチャレンジされていて素晴らしい。少人数児童の本校ならではの学習方法もあろうかと考える。個人の学力実態、推移を眺めて指導を願えれば嬉しい。 ○テストの平均についてですが、個人差、単元によってばらつきがあるようですが、中学校でも同じような傾向があるようです。平均点以下の子どもの指導が大切ではないでしょうか。 ○午前中5時間授業というのは児童にとってあわただしくならないか気になったが、じゃれ合いタイムの活用やスタートカリキュラムへの取り組み、さらに来年度は読書の時間を設定するという話を聞いて様々な取り組みがされていることが分かった。 ○読書週間や図書委員会の取組等での読書指導は素晴らしいと感じている。ゲーム・TV鑑賞に没頭する児童の増加の昨今、考察力向上につながる読書が大事と思える。脱ゲーム遊びにも有効か？ ○読書をすることで文章内容を理解する力ができるので保護者の協力をもっと必要だと思います。 ○読書は感想文を書かせるのもいいのではないのでしょうか。 ●読書量が少ないことが気になる。読書への関心を高めるためにも、何曜日の何時から読み聞かせのボランティアが必要なかがわかれば協力できる方もいると思うので、周知することも大切ではないか。 ●児童アンケートも見て、「親子で読書」の低さが気になりました。読書する習慣は言語を獲得するための第一歩。是非とも習慣付けを行ってほしいものです。現在ボランティアによって行われている読み聞かせを、参観日などに行ってもらい、保護者に読書にわかってもらおうのも一つの方策ではないかと思えます。 ●読書の項目が目立って低い、これが気になります。自分で気づくことができなければ、もっと親・保護者への働きかけが必要になりますね。今までの模範例があれば啓発に使って下さい。ちなみに我が家の子どもたちの学力は読書量に比例しているようです。

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
	(2)学ぶ意欲の育成	① 学習態度週間の実施 ② アクティブ・ラーニングの推進強化（全職員の研究授業） ③ 表現力の育成（リレー作文、宮日投稿）	① 毎学期学習態度をチェックして低い項目について指導することを繰り返している。学習中の意欲、態度は向上している。 ② 本城小のアクティブ・ラーニングが定着してきている。相互参観月間を設けて、全員授業を公開し、互いに評価し合うことで授業力の向上に取り組んでいる。 ③ 週末作文の課題を全学年で出し、よい作文は宮日新聞に投稿し、児童の書くことへの意欲向上につながっている。現在12名の児童が掲載されている。	3		○文字の書き方が上手になっていると感じました。 ○宮日新聞・学校通信「本城の風」等によく紹介される作文を拝読しています。大変素晴らしい作文が多く、自分の考え、思いがよく伝わります。串間市の青少年の声を聞く会で、堂々とした発表も素晴らしいです。 ○宮日新聞投稿という目標に向けて少ない児童の中から12名もの児童が掲載されるなど、素晴らしい成果です。 ○週末作文の宮日への投稿は子どもたちへの意識の向上につながると思っています。作文の内容は非常に立派で読むのが楽しみです。 ●「何のために学ぶのか」という意識が子どもたちの中に希薄のように感じました。 ●作文の宮日新聞への投稿、本当に素晴らしいことと思います。一方神戸雄一詩碑祭での入賞者が少なく、残念に思いました。
2 生徒指導の充実	(1)望ましい人間関係の育成	① いじめ・不登校対策委員会の実施と充実 ② 挨拶と正しい言葉遣いの継続的指導の推進	① 毎月1回全職員で対策委員会を開き、指導の方針を共通理解することで、学校全体で指導、対応ができています。それぞれの事案は解決したり、よい方向に向かっていたりしている。 ② 6年生があいさつのよいお手本となっているので低学年にも浸透してきている。年度当初に「くん、さん」付けを全体指導したことで言葉遣いが昨年度に比べよくなっている。	4	3	○いじめの話題が増えたのは、いじめについて関心が高まったことと受け取っています。 ○いじめ・不登校対策委員会を月1回実施されている理由、大きな問題になる前対応がとれると思われる。先生方の児童への接し方が児童目線で非常に良い。 ○挨拶の要請は、児童誘拐や事件が多発している今日、難しい面もあるが、人間関係での大きな行為です。コミュニケーションの入口、大事にしたいものです。上級生への指導が大きな効果を示すものです。素晴らしいことと考えます。 ○学校が楽しいと感じている児童が多いということは日頃の先生方の指導の良さだと思います。 ○いじめ不登校は全国的に大変な問題ですが、本城では先生たちのおかげで安心です。あいさつ、言葉遣いも非常にいいと思います。 ○登校の際のあいさつが班長さんを中心にとっても元気で大きな声でできています。 ○なかなか物騒な世になり、誰にでも挨拶を・・・というには少し危なさを感じる世の中になりましたが、本城小の子どもはよく挨拶をしてくれています。
	(2)校内の美化や整理整頓	① 無言清掃の徹底 ② くつ、ぞうきん、トイレのスリッパの整理	① 昨年度に比べ掃除の回数は減ったが、熱心に取り組んでいる。引き続き、清掃指導、	3		○無言清掃の徹底の実施は、集中力向上にもつながると考えます。児童と行動を一緒にする中で、集中する時間の短さを感じることがあります。好き嫌いも関係することですが、集中力向上の一環となるでしょう。

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
		<p>整頓徹底 継続的な指導の 継続</p>	<p>常時指導の充実に取り組む。 ② トイレのスリッパは全般によく並べてある。しかし、いつも全部並んでいるわけではないため、学年に応じた具体的な常時指導を行うことで、整理整頓に対する意識の向上をさらに目指す。</p>			<p>○少ない児童数の中、よく清掃されていると思います。あともう少し、「ここも掃除しなくちゃ」という子どもたちの気付きがほしいところです。 廊下の展示物等、その気づいて欲しいところです。 ○大人もなかなか難しい課題。ただし、社会生活を営む上では大切な事柄です。根気よく指導をお願いします。 ○整理整頓への熱心な取り組みは十分達成している。継続的な指導をお願いします。 ○トイレのスリッパに関してですが、近頃の親できていないから子どもまねをしたいと思います。まずは親の意識改革が大事だと思います。 ●何のために無言清掃に取り組んでいるのかしっかり目的をもって取り組まないと児童に徹底しにくいのではないかと。目的を児童に伝えて、目的意識をもって取り組ませることが大切である。</p>
3 体力の向上	(1)体力づくり	<p>① 体力テストで県平均を上回る (96項目中65項目以上) ② 持久走強化週間・なわとび強化週間 ③ 徒歩通学</p>	<p>① 達成が 57 項目と目標の 65 項目の達成はできなかった、今後、体育の授業の充実や日々の外遊びの推奨で体力の向上を目指す。朝の「じゃれあいタイム」は体力向上にもつながっている。 ② 持久走月間では、自主的に始業前に走る児童が増え、児童の体力向上への意識が高まった。持久走大会では、85%の児童が昨年度の記録を更新することができた。なわとびは1月に実施予定である。 ③ 地域の事情もあり、途中まで送ってもらう児童もいる。保護者を含めた生活習慣の改善指導（早寝、早起き）に取り組んでいるところである。</p>	3	3	<p>○「じゃれあいタイム」の効果が上がってきているようで一度見学してみたいです。 ○8月、9月と5、6年生と千野棒おどりの練習をしましたが、子どもたちの取り組む姿勢に感服したのとその時間で問題になったところが次回にはちゃんと克服されている姿に感銘を受けました。この部分では「なんのために学ぶのか」＝学習のめあてがしっかり子どもたちに理解されていたと思われます。 ○体力づくりは楽しいことから入るのが効果的だと納得しました。 ○体力向上については、朝のじゃれ合いタイムはとても良い取り組みだと思う。さらに休み時間を通して例えば縄跳び運動に取り組ませるなど、休み時間の遊び方の工夫することで体力向上に取り組むことも必要ではないかと。今後検討してほしい。 ○持久走で85%の児童が昨年度の記録を更新できたことは素晴らしい。持久走は我慢比べで忍耐力向上につながると思います。よく頑張ったと思います。縄跳びを日常の遊びに取り込み、体力作りとしてはどうでしょうか？ ○持久走大会を見ましたが、子どもたちの前向きな姿を見ることができ感動しました。 ○地域の事情はあると思いますが、徒歩通学は体力づくりや友達とのコミュニケーション・協調性の向上にやっ立つのでは？ ○徒歩通学は体力づくりにつながるもの、もっと保護者の協力が必要。 ○通学についても親の意識改革が必要ですね。 ●達成が57項目との由、昨年度も57項目達成と記憶している。達成項目の違い等を分析し、対処する必要があるのではないだろうか。</p>

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
	(2)食育の充実	① 早寝・早起き・朝ごはんの推進 ② お弁当の日3回以上実施 「食」に関する指導の充実	① 多くの児童はできているようだが、特に朝食の内容については充実していない家庭もあり、学校保健委員会や保健室からの通信などで保護者への啓発を行っている。 ② 遠足の時に保護者に呼びかけ2回実施した。3月の遠足時に3回目を実施する予定である。串間中学校の栄養教諭を招いての「食」に関する指導にも全学年で取り組んでいる。	3		○冬は寒いので起きるのが遅く、しっかりと朝食が取れていないのでは？ ○朝食は体力の源、保護者の協力理解が肝要。 ○朝食は脳を活発にする原動力だと思います。保護者への指導は必要では。 ○家庭の事情はあるでしょうが、ぜひ児童の思い出作りに理解を。 ○お弁当の日を利用して、子ども同士で食べ比べするのもいいと思う。 ○早寝早起き、朝ごはんは生活する上で基本であり、最も大切なことです。保護者の協力が必要です。啓発を続けてください。 ●この部分気になりました。アンケートの⑭⑮⑯と⑤の低下、家庭教育力が落ちてきているのかなと危惧しています。この部分の改善、本来ならPTAの仕事と思うのですが現状、学校に依拠するしかありません。
4 家庭・地域との連携	(1)家庭・地域との連携	① 授業等における外部人材の活用(キャリア教育の推進) ② 学校から地域への貢献活動 ③ 家庭学習の徹底 家庭への働きかけ強化	① 動物愛護センターによる「命の授業」や見学等、土木の日の体験授業、モーモー教室にも取り組み、機会が増えている。 ② 児童の下校後のようすを把握するためのナイトレンジャーの実施、コスモス・ひまわりの種植栽に参加した。また、「計算トランプ」も参観日に地域の方を招いて紹介した。 ③ 宿題等の提出は多くの児童ができています。できていない児童への指導と保護者の啓発を繰り返し行っている。	3	4	○外部人材活用や地域との連携ができていっているように思われる。 ○授業等における外部人材の活用は社会生活の理解に役立つと思います。 ○地域での行事に参加することは、故郷の思い出作りに大いに役立つと思います。将来仮に本城を離れたとき、郷土愛が変わると思います。 ○七夕飾りへの児童、先生の参加協力、コスモス・ひまわりの種植栽活動への参加・協力、本城イルミネーション点灯式への千野棒おどりへの参加等々、地域を盛り上げるための貢献活動に感謝致します。 ○地域とのつながりがとても密でいい実りがあると感じられます。地域の目上の人々の教えは今後もきっと(一生)生きていくと思います。 ○家庭、地域とのつながりは、子どもが社会に出て生きていくために必要です。今後もどんどん参加をお願いします。 ○地域とのかかわりを子どもたちがもつということは、郷土愛を育てる上でも大切である。ひまわり、コスモスの種まき活動などを通して、保護者も学校も地域との関わりを大切にしようとしていることが感じられよかった。また、地域と子どもが関わると地域の方も子どもの顔が分かり、防犯にもつながる。 ○共働き世帯が多い今日、なかなか親の目が行き届き難いとは思いますが、保護者の協力をぜひ仰ぎたいです。決め事を守る責任感を植え付けることが寛容か？ ○家庭学習は保護者の協力が不可欠です。 ●食事の時など親子の会話を積極的していくことで学校の様子や宿題を知ったり、学校からの文書の有無を確認したりすることができるので、親子の会話に対する保護者の意識を高めていく必要がある。

評価項目	評価指標	具体的手立て	達成状況及び対策	自己評価	関係者評価	学校関係者評価コメント
	(2)ホームページ等を通しての情報発信	① ホームページの更新 ② 本校の取組について新聞等への情報提供	① 毎日70～90人のアクセス数がある。 ② 報道機関に事前に情報を発信し、宮日新聞に学校行事や活動に関して11回(ミニミニ4回を含む)掲載された。	3		○ホームページの更新で本当によく学校行事や教育の状況がわかります。大変ですが今後も継続維持願いたい。 ○保護者の方は、ホームページをどのくらい見ているのでしょうか？ ○インターネットを利用できない地域住民に対しても、「本城の風」の学校通信を回覧で発信され、学校の状況が把握できる。 ○新聞等による情報発信、素晴らしいです。 ○大変素晴らしい、今後もどんどん発信し、本城をアピールしてください。